

法人名	横浜市(公立)
施設名	横浜市神大寺保育園

発表者名 (職名)	清澤 卓朗 (保育士)	住所	横浜市神奈川区神大寺2-1-7(神大寺保育園)		
発表者名 (職名)	城田 恵 (保育士)	TEL	045-481-1513	FAX	045-481-1547
発表者名 (職名)		メールアドレス	na00-murakami@city.yokohama.jp		
		URL			
		定員	65名	職員数	27名

発表の概要・内容

自園は近年、「防災」を取り入れた保育に力を入れています。遊びや活動を通して、災害時の行動や自ら身を守る対処の仕方を知ることを行ってきました。

昨年は、オリンピックイヤーで色々なスポーツや体の動きへの関心が高まりました。その関心から、さらに標識(ピクトグラム)への気づきや自分の地域を知ることへ繋がっていきました。散歩と防災への取り組みが融合し、自ら健康で安全な生活、危険を回避することを考えていく子どもたちの姿や実践を発表したいと思います。

東京オリンピックでの選手の活躍や開会式で話題のスポーツピクトグラムを見て、子どもたちは色々なスポーツに興味を持ち始めました。そこからピクトグラムの真似をして、自分の体の動きを楽しみました。



防災については、日頃より防災キャンプ(防災用品の試用・試食)や防災まちがい探し(日本赤十字社)を行っています。

その経験の中で町の中の危険箇所や防災に関連する物、様々な標識への気づきに繋がっていきます。

さらに、身の回りの標識がピクトグラムに類似していることに気づきました。



散歩に出かけると、町の中の至る所に標識の中のピクトグラムを発見しました。

交通標識から防災標識まで様々なものが身近にあり、防災教材・絵合わせカードの『てくてくまっち』(神奈川区と横浜市立大学共同作成)も活用しながら、自分たちの暮らす町を知ることにも繋がっていきました。



今回の実践では、スポーツへの興味から深まったピクトグラムの遊びを通して、自分たちの住む(保育所のある)地域を知ることへと広がっていきました。そして、力を入れてきた『防災』では、避難所等身を守る様々な方法を知ること、地域に子どもたちや職員も守られているということがわかりました。今後も子どもたちが地域との関わりや繋がりを感しながら、自ら健康で安全な生活を意識して行ってほしいと思います。

メモ